

事務事業評価表 平成24年度

政策 安全で快適な都市生活の充実
 施策 交通環境の充実
 基本事業 安全で快適な道路づくり

事業名 **兵村 3番通り道路工事**

[0947]

部名	建設部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	都市建設課	事業終了年度	平成23年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 兵村 3番通り
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 道路利用者が安全で快適に通行できる交通環境を確保する。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 道道札幌北広島環状線から兵村 3丁目通り及び兵村 9丁目通りから縦貫自動車道間の延長 1,574mの区間で車道の舗装補修を行う

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	整備対象延長	m	2,417	1,574		
対象指標2						
活動指標1	当該年度整備延長	m	2,417	0	1,574	
活動指標2						
成果指標1	延べ整備延長	m	2,417	0	1,574	
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	107,562	20,000	39,987	0
正職員人件費 (B)		千円	4,149	2,418	0	0
総事業費 (A) + (B)		千円	111,711	22,418	39,987	0

費用内訳	
23年度	工事請負費 39,987千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	本路線は道道北広島環状線と道道大麻東雁来線及び市道公園通りを連絡する幹線道路であり、交通量の増加に伴い舗装の老朽化が進み、縦横断的な亀甲状のひび割れや轍がみられ、車両の通行に支障をきたしている状態であるため、早急に舗装補修を行い道路利用者の安全で快適な通行を図る必要があるため。	事業を取り巻く環境変化	当該事業は平成22年度の補正事業で年度末に契約しており、事業費は一部をH22年度に執行しているが、内容は現地調査等の準備工であり、H23年度に本工事を行う。
--------	---	-------------	--

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

道路管理者である市が実施することが妥当であるため。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

交通量の増加、特に大型車の増加に伴い舗装の老朽化が進み、縦横断的なひび割れやわだちがみられ、車両の通行に支障をきたしている状態が改善でき、道路利用者の安全で快適な交通環境が確保できるため。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

計画に沿った整備が進められているため。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

短期間で道路整備を実施しており、安全で快適な道路空間が確保できている。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
・
根拠は？

北海道積算システムの導入により事務処理の迅速化を図っており、また、設計単価等についても統一単価を使用しており削減は難しい。